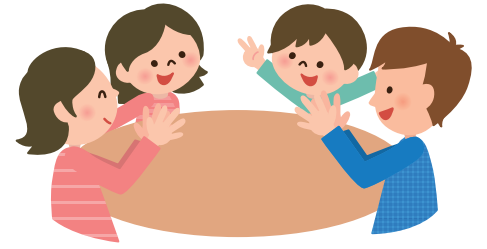


正しい言葉で心のキャッチボールを

家庭での子どもたちの様子はいかがですか・・・

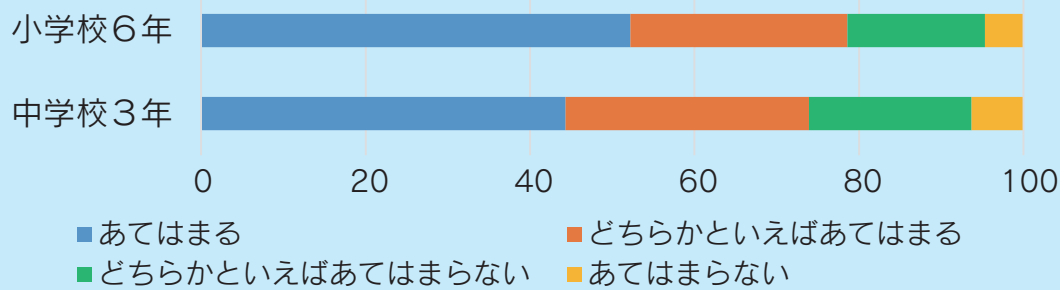
- メールやパソコンに夢中で顔を見ないで会話していませんか。
- 集中して人の話を聞くことができますか。
- 自分の気持ちを言葉で表現することが苦手な様子はありませんか。
- 言葉の乱れや語彙力の不足が見られませんか。
- 敬語を使って話をすることができますか。



ちなみに、
北海道の子ども
たちは・・・

小・中学校の児童生徒の約2～3割が、家の人と学校での出来事についてあまり話をしていないと回答しています。

「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。」



「平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙」

学校では

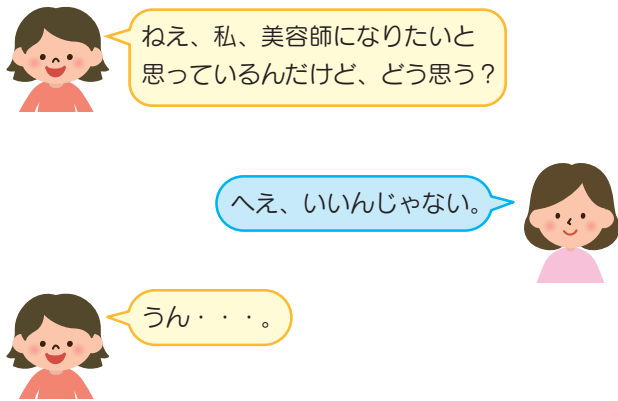
子どもに言葉によるコミュニケーション能力を身に付けさせるため、

- ・ 国語科で、正しい日本語を使って伝え合う力を高める学習
- ・ 外国語活動で、コミュニケーションの大切さに気付く学習
- ・ 学級活動で、言葉や話し合いを通して学級の問題を解決する学習

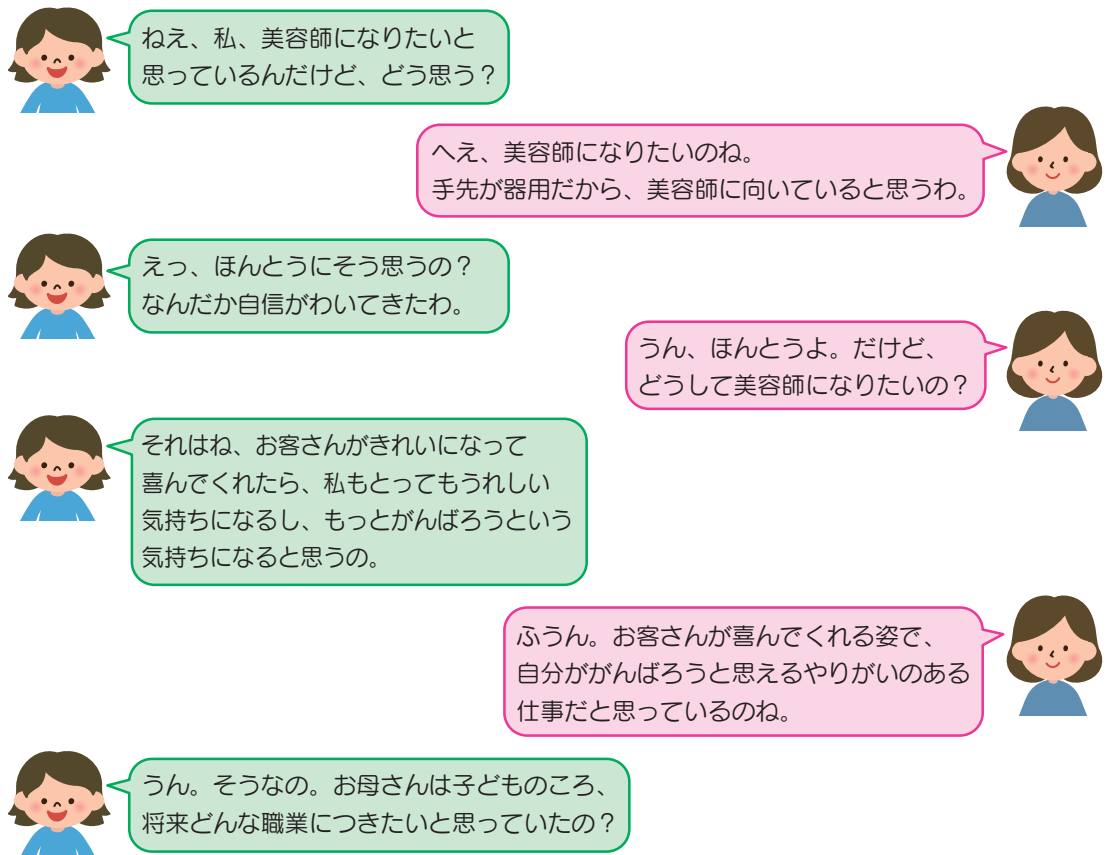
などの学習活動を行っています。

次の2つの家族での会話を見て、話し合ってみませんか。

会話①



会話②



会話①と会話②をくらべて、
印象や感想などについて話
し合ってみませんか？

是非、家庭でも取り組んでみませんか。

- 学校での出来事などについて、子どもと語り合う時間を大切にしましょう。
- 日常生活の様々な話題について、家族で振り返る時間をもちましょう。
- 自分の気持ちをよりよく伝えることができるよう、手紙を書く機会を増やしましょう。
- 親子で読書をする機会を設けましょう。

北海道教育委員会が作成している資料を活用してみませんか。

- 「おもてなしハンドブック」 (<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/doutoku/omotenasihandbook.htm>)
- 「子どもたちにコミュニケーション能力をはぐくむために」 (<http://www.curricen.hokkaido-c.ed.jp/dokyoi/sidou/sr01.pdf>)

